

9月放送総局長定例記者会見要旨

(1) 2020年度後期番組改定について (正籐放送総局長)

まずは、2020年度の後期に始まる主な番組からご説明する。

総合 「NHK地域局発」 「列島ニュース」

総合テレビは、後期改定で、地域のニュース・番組の全国発信を強化する。

午前10時台には「NHK地域局発」を新設する。NHKの各地域放送局が制作した番組を、全国に向け放送する。地域の課題に向き合う報道情報番組や紀行番組など、地域に根ざした放送局ならではの視点で制作された多彩な番組を放送する。

また「列島ニュース」を、午後1時台で定時化する。各地域放送局がお昼の時間帯に放送する「ローカルニュース」をセレクトし、全国に発信する。その地域ならではのニュースを掘り起こして積極的に取り上げ、各地の情報を知りたいという視聴者のニーズに応える。最新の気象情報もお伝えする。

総合 連続テレビ小説「おちょやん」

連続テレビ小説103作目となる「おちょやん」は、11月30日放送開始。杉咲花さんが演じるヒロイン・竹井千代は、大阪・南河内に生まれ、奉公先でお芝居に魅了されて女優を目指し、やがて喜劇界のプリンスと二人三脚で、昭和の戦前、戦中、戦後の激動期を駆け抜ける。大阪を舞台に、笑って、泣けて、人情あふれる、波乱万丈の物語。

Eテレ 「“シュガー&シュガー”」

Eテレでは、9月29日より「“シュガー & シュガー”～サカナクションの音楽実験番組～」を放送する。ロックバンド・サカナクションのボーカル、山口一郎さんが、さまざまなアプローチで「音楽の新しい楽しみ方」を発見するエンターテインメント番組。これまで特集番組として4回制作し、毎回SNSを中心に多くの反響をいただき、レギュラー化が実現した。趣向をこらしたショートコーナーで構成し、意外な著名人を迎えるゲストトークも見どころ。

BS1 「ランスマ倶楽部」

BS1では、今年3月の放送終了まで、およそ8年にわたって放送し好評をいただいたランニング情報番組「ラン×スマ」をリニューアルした、「ランスマ倶楽部」の放送が始まる。ランニング熱がますます高まる中、「いっしょに速く!」をコンセプトに、どうすれば市民ランナーが長距離を速く走れるようになるか、ノウハウを紹介していく。レギュラー出演者には、タレントの佐野千晃さん、高樹リサさんをお迎えする。「ラン×スマ」でおなじみの金哲彦さん、藤原新さんによる熱い指導のもと、フルマラソン3時間切りなどの目標を、来年3月までに達成することを目指す。

BSプレミアム 「ヒューマニエンス」

BSプレミアムでは、「ヒューマニエンス 40億年のたくらみ」が始まる。「ヒューマニエンス」は、ヒューマンとサイエンスの造語。「人間とは、なんなのか?」、科学がどんなに進んでも永遠に続くこの問いについて、専門家と一緒に思いをめぐらせる。初回は「オトコとオンナ、“性”のゆらぎのミステリー」。織田裕二さんは、NHKでは、1989年に放送したドラマ「十九歳」以来のレギュラー出演となる。

(詳細は報道資料を参照)

(2) キャンペーン「みんなで応援！#首里城に会いたくて」 (小池副総局長)

沖縄の首里城で、正殿などが焼失し、全国に大きな衝撃を与えた火災から、10月31日で1年となる。10月と11月、NHKでは「沖縄のシンボル」でもある首里城の姿を、ドラマや、再建へ向けたドキュメンタリーなど、さまざまな角度からお伝えしていく。

10月31日と11月3日、7日の3日間は、2011年にBS時代劇として放送した「テンペスト」全10回を、総合テレビでアンコール放送する。19世紀の琉球王国を舞台に、仲間由紀恵さん演じる主人公が、性を偽って政府の役人になり、琉球を愛して懸命に生きる姿を描く、エンターテインメント時代劇。首里城で撮影されたシーンが数多くあるので、焼失前の建物を含め、首里城の美しい姿をご覧いただける。

11月3日には、総合テレビで、特集番組「デジタルでよみがえる首里城 ～沖縄のこころをたどる物語～(仮)」を放送する。焼失した建物にとどまらず、小高い丘全体に及ぶ広大な城だった、最盛期といわれる18世紀の首里城の姿を、最新の調査を元にコンピューターグラフィックスで徹底的に再現した。その過程で浮かび上がったさまざまな秘密を明らかにしていくとともに、首里城がなぜ「沖縄のシンボル」と言われる存在になったのか、沖縄の心に迫る。

このほかにも、「首里城」を取り上げた番組を全国、沖縄県域に向けて放送する。皆さんにとって、今回のキャンペーンが美しい首里城に思いをはせ、再建を後押しするものとなればと思う。

(詳細は報道資料を参照)

(3) Eテレ ズームバック×オチアイ特別編

「落合陽一、オードリー・タンに会う」 (林副総局長)

10月3日、Eテレで「ズームバック×オチアイ特別編 落合陽一、オードリー・タンに会う」を放送する。

「ズームバック×オチアイ」は、先行き不透明なコロナ禍の中、経済や環境・教育など生活に密着したテーマで、私たちが進みうる「半歩先」を読み解く知的エンターテインメント番組として、これまで4回にわたって放送してきた。

教育者や研究者などさまざまな顔を持つ落合陽一さんが今回対談するのは、台湾のIT担当閣僚、オードリー・タンさん。新型コロナウイルスの感染拡大防止で世界から注目された台湾で、「マスク配布アプリ」など最先端技術を駆使して対策をリードされた。

3時間にわたる対談では、コロナ禍で浸透したデジタル技術の「危険性」と「可能性」、10年後の経済予想、民主主義のアップデートなど濃密な未来予想が繰り広げられた。

ここでしか聞けない、誰もが聞きたい「withコロナ、アフターコロナを歩くヒント」が詰まった特別編だ。

(詳細は報道資料を参照)

(4) BSP 「映画音楽はすばらしい！」 (若泉副総局長)

10月10日、BSプレミアムで、「映画音楽はすばらしい！」を放送する。

「その音楽」を聴けば「映画」の名シーンがよみがえる。「その映画」を見れば心揺さぶる「音楽」が聞こえてくる。この番組は、映画史に残る数々のメロディーを、名シーンと共に、豪華歌手の歌声と極上の生演奏でお届けする「スクリーンコンサート」だ。

今回ご紹介するのは、1938年公開の「モダン・タイムス」から2018年公開の「グレイテスト・ショーマン」まで全部で27作品。VTRにあった以外にも、「バック・トゥ・ザ・フューチャー」、「美女と野獣」、「ボディガード」など、2時間たっぷりお届けする。

スペシャルゲスト、薬師丸ひろ子さんのほか、舞台・コンサートで活躍中の12組の皆さんが、日本屈指の演奏者43名による生演奏と、大スクリーンにうつしだす映画の名シーンをバックに歌う。

コロナ禍で、なかなか触れることができなかった魅力あふれるエンターテインメントの世界を、ぜひご家族で堪能してほしい。

(詳細は報道資料を参照)